

2025（令和7）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
あきつの園

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①個別のニーズや特性に応じた環境を整備するとともに、個々の能力を引き出し、平均工賃2万円台を維持できるように努める。

②職員は、利用者、保護者とのコミュニケーションを積極的に取り、人権を守り、自立の助長に繋がる支援をする。利用者の多様な意見を冷静に受け止め、主体性を尊重し、一人ひとりの思いを汲み取り、支援者側の一方的な解釈ではなく、双方で適切に課題の解決や自己実現を叶える支援を目指す。

③福祉施策や制度の動向など新しい情報を常に意識し、サービスに活かす。

④近隣の清掃活動の実施や市内のイベントなどへ木工品販売で参加し、交流を図ることで、地域に開かれた事業所を目指す。

・利用者数が増え、平金工賃支給額を維持するのが難しい状況であったが、年間で平均2万円以上の支給が達成できた。

・個々のニーズに対し、柔軟な対応をし、利用者それぞれの課題に職員も一緒に向き合い、毎日の活動に取り組んだ。

・市内や近隣のイベントに積極的参加し、あきつの園をPRする機会とした。

（3）中期目標（令和7年度～令和9年度）

①利用者数が増加しても従来通りの工賃支給をすることを目標としつつ、「働く事」を主にしたサービス提供だけでなく、作業以外の場面の提供をするなど、個々に最適な支援を提供するための体制を整備する。

②個々の障害程度や特性などに合わせた、個別性を尊重したサービス提供の実現のため、日々の観察を強化し、利用者像やニーズの捉え方を見直す。必要に応じて、相談場面や余暇場面の増加

や、アセスメントシートや工賃評価の仕組みの見直しも行なう。

③就労支援事業収入の確保、および、幅広く利用者個々の能力を発揮できるように、作業全般の見直しを行なうとともに、新規作業の導入に向けた取り組みをする。

④職員間で、統一した利用者支援や業務遂行を円滑に行なうため、マニュアルの整備、伝達方法の改善をする。

⑤地域との交流のさらなる促進や地域貢献のために、資源回収や地域清掃などの場面の充実を図り、その他にもバザーなどの催しの実施や、町内自治会の活動への参加などを検討する。

- ・平均工賃2万円を維持しつつ、就労活動の合間に、余暇・相談の時間をもち、働き続けることを支援した。

- ・利用者のケース会議を月に2～3回程度実施した。実施する際は事前に該当の利用者の日々の観察を強化し、情報収集や状況の把握に努め、より適切な支援に繋げる為の検討をした。

- ・従来行っていた年1回の施設祭りに加え、バザーを年2回実施し、収益獲得と近隣との交流の機会とした。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 40名（現利用者数：45名）
- (3) 開所年月 平成24年4月（平成30年10月1日全面改修）
- (4) 施設規模 敷地面積 685.07㎡
延床面積 518.64㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造（地上2階地下0階建て）
賃貸区分 （土地）市より賃貸 （建物）所有

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名
支援員（常勤職員）	5名※内1名兼務
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（常勤職員）	1名※兼務
支援員（非常勤職員）	12名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	1名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	20名

※支援員1名は、事務員と兼務

(2) 嘱託

医師	(2回/年)	1名
看護師	(0回/年)	0名
理学療法士	(6～8回/年)	0名
作業療法士	(0回/月)	0名
合 計		1名

4. 利用者状況（令和8年3月31日現在）

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合 計
愛の手帳	1名	17名	18名	9名	0名	45名
身体障害者手帳	5名（重複）					5名
精神保健手帳	0名					0名

※愛の手帳・身障手帳と重複者あり

(2) 年齢構成（平均年齢 33.6歳）

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合 計
男	2名	11名	8名	7名	5名	0名	33名
女	2名	5名	4名	0名	1名	0名	12名
合計	4名	16名	12名	7名	6名	0名	45名

最低年齢 男…19歳 女…19歳 最高年齢 男…59歳 女…58歳

平均年齢 男…35.2歳 女…29.3歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	東久留米市	入間市	清瀬市	所沢市		合 計
27名	5名	2名	10名	1名		45名

(4) 障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	5名	6名	13名	3名	0名	18名	45名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
退所者	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
月末数	46	46	46	46	46	46	45	45	45	45	45	45	546
延べ日数	1,012	1,058	1,012	1,058	966	1,012	1,035	990	1,035	1,035	900	1,035	12,148
延べ人数	960	990	914	964	848	924	938	873	946	916	832	947	11,052
出席率(定員)	109.1	107.6	103.9	104.8	101.0	105.0	102.0	99.2	102.8	99.6	104.0	102.9	103.5
出勤率(現員)	94.9	93.6	90.3	91.1	87.8	91.3	90.6	88.2	91.4	88.5	92.4	91.5	91.0

5. 日課

(1) 月～金曜日（あきつの園活動予定）

時間	内容
8：30～	登園・職員打ち合わせ
8：45～9：00	朝礼・ウォーキング or 体操
9：00～12：00	作業・ストレッチ（途中10分休憩）
12：00～13：00	昼食・昼休み・個別相談・連絡ノート記入
13：00～15：30	作業・ストレッチ・係活動（途中10分休憩）
15：30～15：40	作業片付け・清掃
15：40～15：50	終礼
15：50～	退園・職員館内消毒
16：15～	職員打ち合わせ

(2) 土曜日

8：30～	登園・職員打ち合わせ
8：40～11：00	朝礼・体操・作業・個別相談・連絡ノート記入
11：00～	掃除・昼食
12：00～	退園・職員打ち合わせ・他
12：00～	職員館内消毒

※基本的に作業だが状況に応じてレクリエーション行事を行う。

6. 重点目標

(1) 健康・衛生

- ①感染症予防対策として、徹底した手洗い、手指消毒と検温、施設内消毒、車両消毒、換気を行う。
社会的な感染症の拡大状況を注視し、事業所の対策に反映させる。日々の利用者の健康状態に気を配り、体調不良時は、保護者、医療機関等と連携し迅速に対応する。生活リズムを整え、規則正しい生活を送ることの大切さを周知する。
- ②健康診断・婦人科検診・予防接種・歯科健診を年1回、体重・体脂肪測定等を毎月行い、家庭やGHに情報を提供する。個々の状況を考慮し、必要に応じて、通院の同行をする。
- ③個々の状況に応じて、理学療法士が計画した運動プログラムを実施する。全体の取り組みとして、朝の体操、週1回のウォーキング、運動レクリエーション等を実施し、気分転換や運動機能の維持を図る。
- ④日常的な服薬のある方の服薬管理を徹底する。災害時用の服薬（3日分）を事業所に保管し、定期的な入れ替えを行う。
- ⑤障害の特性や高齢化などにより、日常的に健康面への配慮が必要な方に、個別対応や環境調整、体調管理や家庭連絡などの対応を行い、安定して通所できるよう支援する。
- ⑥口腔衛生のための取り組みとして、利用者の歯磨きの状況を確認し、必要な利用者に、個々にブラッシング指導を実施する。自治会などで、定期的に歯磨きへの意識が高まるような情報提供などをする。
- ⑦BCP（感染症）に基づき、連絡調整や対応手段を整理し、感染症発生時にも、円滑に事業の継続または再開をするための体制づくりをする。

- ・各種健診などを計画に沿って実施し、日常的にPT提案のプログラムを必要な利用者へ実施することで、健康の維持、向上を図れた。
- ・歯磨き指導を歯科健診前等を実施し、利用者の意識付けを図った。

嘱託医相談	内科（むらせ医院奥平医師）	5/8（個別相談2名） 11/20（個別相談4名）
	理学療法（PT相談・指導）	5/13・6/10・8/5・9/16・11/11・ 12/9・2/10・3/10
健康診断	あきつの園（白十字病院健診車）	6/10（利用者42名職員4名）
婦人科検診	白十字病院	11/18に予定していたが希望者なし
歯科健診	あきつの園（折笠歯科医）	2/12（利用者38名）
インフルエンザ予防接種	あきつの園（白十字病院）	11/19（利用者39名職員14名）
体重・体脂肪測定	あきつの園	毎月第4週

（２）家庭・地域生活・係活動

- ①自事業所以外の福祉サービスの利用等を市役所・相談支援事業所等と連携し、情報提供を行い、日常生活の充実や、将来に向けて選択肢を広げる取り組みをする。
 - ②衣類・日常生活用品の買い物、身だしなみを整えるための支援など、個別のニーズに応じて実施する。また、余暇の過ごし方などの情報を提供する。
 - ③係活動（清掃、洗濯、配膳等）を通じて、施設内の衛生的な環境を保ち、自立に向けて日常生活技術の獲得も目指す。
- ・利用者個々のニーズに基づいた買い物サービスを実施し、近隣店舗への買い物希望を募り、小グループ編成で実施することで、商品選択における自己決定を丁寧にサポートした。また、金銭管理や公共マナーの習得など、地域生活に必要なスキルの維持・向上を図る機会とした。
 - ・係活動として、個々の適性や可能性に応じた役割分担をし、取り組んでいただいた。継続的な活動を通じて、手順の習得や基礎能力の向上を促し、自信をもって取り組める役割の確立を支援した。

買い物サービス 実績

日時	参加人数	実施場所
7/31	8名	ファッションセンターしまむら
7/31	7名	ユニクロ
7/31	2名	GU

（３）作業・係活動

- ①作業マニュアルを定期的に見直す。作業の状況を日々の打ち合わせにて職員間で共有する。常時、整理整頓を意識する。作業を効果的に進めることで、平均工賃の維持と向上を図る。
- ②契約業者とのやり取りを密にし、信頼を得る事で安定した活動場面の提供を維持する。
- ③個別のニーズや特性に応じて、小グループでの作業場面の提供など可能な限り参加作業や環境に配慮する。
- ④達成感や充実感、喜びが得られるように個々に目標を設定するなどの支援をする。本人の強みに

着目することで潜在能力を引き出す。作業能力の向上を図るとともに、個々のやりがいなどにも着目した働きかけをする。

⑤収入の確保や利用者の能力を幅広く引き出すために、新規作業の試験的導入を検討する。

⑥自主製品(木工)について、既存の受注作業の実施に加え、利用者が関われる作業工程を検討しつつ、新たな商品などの開発を試み、利用者の参加人数を増やす。

- ・公園清掃などの委託先から、清掃作業についての指示・連絡があった際には速やかに事業所内外へ伝達し、清掃の質の維持・向上に努めた。
- ・室内作業に関して、利用者の作業の精度の確保や、職員の検品の確実な実施が安定しない期間があった。職員による検品体制、手法を強化し、より確実性の高い作業手法へシフトした。この工程改善に伴い、作業効率は前年度以前に比べて微減になったものの、利用者の確実なスキルの習得と、受注先からの信頼維持へ繋げた。
- ・個々の障害特性等の状況に合わせ、声掛けや目標設定をし、やりがいをもって作業に取り組めるように配慮した。
- ・自主製品(木工)について、販売会にて他法人とコミュニケーションを図り什器(ガチャガチャ機)を借用し、カプセル詰め作業からバザーまでの工程を実施し、作業の多様化と参加人数の増加への取り組みを試験的に実施した。

作業・就労活動

① 事業所内活動

(単位:円)

作業名	受注・納品先	作業内容	稼働数	参加者	令和6年度収入	令和7年度収入
受 注	鈴木紙工	ショッピングバック 作成他	週5日	全員	1, 311, 084	1, 270, 338
清掃事業	東 村 山 市・西 武・ 武蔵野公園・佛眼寺・ 宝泉寺・他 全生園草むしり	ゴミ拾い・落ち葉掃き・ トイレ掃除・ゴミ捨て・ 他 全生園敷地内	月 20 回 以上	数名	6, 534, 770	6, 245, 100
木 工	国立博物館・正福寺 地藏堂・都庁・他	木工製品の作成・販売	週5日	数名	2, 508, 477	2, 613, 983
回収事業	三栄サービス	資源回収	週5日	数名	2, 521, 668	2, 379, 045
その他事業	市内・他	ポスティング・バザー	年数回	数名	142, 193	163, 880
拠点区分間	法人内	木工製品・他	不定期	数名	53, 800	56, 400
小 計①					13, 071, 992	12, 728, 746

パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和6年度収入	令和7年度収入
パート契約	白十字ホーム	施設内清掃	週3日	3名	1, 541, 905	1, 518, 143
パート契約	(株)いなげや	青果・雑用	週5日	1名		
小計②					1, 541, 905	1, 518, 143
合計①+②					14, 613, 897	14, 246, 889

工賃支払実績

(単位:円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	1,020,090	22,176	49,750	4,480	119,845
5月	910,110	19,785	44,220	4,390	128,136
6月	835,270	18,159	41,540	3,000	129,230
賞与	239,790	5,213	9,030	3,190	
7月	828,600	18,014	40,140	3,720	139,458
8月	524,580	11,404	23,820	3,560	134,454
9月	728,970	15,848	33,780	3,970	113,049
10月	884,720	19,661	43,750	4,190	123,400
11月	849,650	18,882	41,920	4,610	131,850
12月	1,107,770	24,618	53,980	4,600	132,709
賞与	239,720	5,212	8,860	3,260	
1月	937,440	20,832	48,290	4,870	129,865
2月	979,530	21,768	48,610	3,980	120,789
3月	668,095	14,847	32,250	3,930	115,358
合計	10,754,335	236,419	519,940	55,750	1,518,143
平均	896,195	19,702	43,328	4,646	126,512

自主生産品販売活動状況

月 日	内 容	場 所	参加利用者数
4 月	緑の祭典	中央公園	1 名
6 月	菖蒲まつり	北山公園	2 名
10 月	白十字フリーマーケット	白十字ホーム	利用者参加なし
	社会事業大学学祭	社会事業大学	利用者参加なし
	白梅短期大学学祭	白梅祭	利用者参加なし
11 月	地蔵まつり	正福寺	2 名

(4) 就労支援

- ①個別支援計画に基づき、一般就労を希望している方へ就労支援を行う。
- ②就労意欲の維持、向上を図り、希望される方にはハローワークや就労支援室に登録を行い、面接・実習に繋げていく。
- ③トラブル等に対応し解決策を見だし、勤務が継続出来るように巡回・連絡等を行う。
 - ・一般就労をしている方へ、訪問や聞き取りを通じ、就労先と状況確認を行い、継続して就労できた。
 - ・就労の意向をお持ちの方へは就労支援室と連携し、希望の聞き取りを行った。

(5) 昼食

- ①清潔で衛生的な環境整備を行う。

- ②日々の食事を楽しみとし、仕事をする意欲に繋がるように働きかける。
- ③刻み食等の提供形態や、利用者の健康状態や個別の要望に合わせたメニューを可能な限り提供する。
- ④四季の移り変わりを感じて頂けるように、旬の食材を使った行事食や郷土料理、世界の料理やリクエストメニューを用意し、食べる楽しみを感じてもらう。
- ⑤利用者の食への関心が高まるような情報発信をする。
 - ・2か月に1度、給食提供者との会議を実施し、利用者からのメニューリクエストや要望等の情報交換をし、さらなる食への安全や楽しみに繋がった。
 - ・利用者の高齢化や障害特性に伴い、誤飲や声掛けの必要がある利用者に対し、職員が見守りをできる体制づくりをした。

栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂質	カルシウム	ビタミン		
617.25Kal	23.35 g	87.58 g	18.19 g	105.58mg	B1	B2	C
					0.35 mg	0.29 mg	33.25mg

（6）自治会活動

- ①朝礼、終礼等を活用しながら、利用者の意見を引き出す。
- ②利用者自身で考え、集団の中で意見を話し合う場面を設ける。
- ③自治会にて、集団生活を送る上での基本的なマナー・ルールや、健全な生活などについて、利用者自身で考える機会を設け、自分達で解決策を見いだせる様に援助する。
 - ・係活動・行事の聞き取りを行った。また、集団生活における他者との関わり方などについて職員から情報発信するとともに、利用者自身で考えるきっかけとなるような場面の提供をした。
 - ・朝礼や終礼で、利用者が自由に発言する場を設け、発信しやすい雰囲気づくりに努めた。

（7）行事

年間行事

実施	内容	場所	目的	人数
8/8	暑気払い	あきつの園	保護者とともに利用者の日頃の労をねぎらい、夏ならではの余興などを楽しんだ。	60名
10/15	バスハイク	東武動物公園	利用者・職員・保護者との親睦を深める	60名
10/31	ハロウィンパーティー	あきつの園	季節感のある催しを利用者・職員で楽しむ	40名
11/3	運動会	八坂小学校	法人全体行事	30名
	地蔵祭り	正福寺	自主生産品販売(地蔵)	2名
12/25	クリスマス会	あきつの園	利用者・職員で、楽しみ日頃の労をねぎらう。	40名
12/14	施設祭	あきつの園	地域との交流を図る	150名
1/14	成人を祝う会	東村山市 中央公民館	法人全体行事 人生の節目として成人・還暦を祝う。勤続の周年の節目を祝う。	30名
3/19	ボウリング大会・納会	久米川ボウル	年度の終わりに利用者・保護者・職員で楽しみ労をねぎらう。一年を振り返る	50名

- ・年間計画通りに行事を実施した。それぞれの趣旨目的に沿った実施になるように企画や実施に努めた。
- ・新たな試みとして、地域向けのバザーを施設祭含め3回実施した。一定の反響があり、今後も工夫

を重ね、地域交流として充実した内容になるように検討していきたい。

グループ外出 実績

月 日	行き先	参加人数
5/27	川越食べ歩き	4名+㊦2名
6/6	コニカミノルタプラネタリウム TOKYO・東京駅	3名+㊦2名
7/11	秩父観光	6名+㊦2名
9/24	水族館（マクセルアクアパーク品川）	6名+㊦3名
10/21	東京スカイツリー	5名+㊦2名
10/27	多摩動物園	6名+㊦2名
11/26	よみうりランド	6名+㊦3名
12/24	地下鉄博物館	6名+㊦3名
1/26	温泉（お風呂の王様和光店）	2名+㊦2名

- ・個別のニーズに沿って、小グループの外出が実施でき、利用者の日常の楽しみや余暇の充実、仕事への意欲に繋がった。また、施設祭、バスハイク、納会、ミニバザーを地域の方や保護者も参加できる形で実施した。

7. 防災訓練

- ①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき、月1回の防災訓練を行う。

訓練項目	回数
園内避難訓練（火災・地震）	12回／年

- ②多機能事業所の特性を生かし、幼児室ポッポとの年数回の合同避難訓練の実施、避難場所に指定されている所へ移動訓練も行う。
- ③防災備蓄品を見直し、過不足なく確保をする。
- ④救急救命士などによる防災関連の講習会を行なう。
- ⑤非常用の薬、処方箋、緊急連絡等の準備と管理を行う。
- ⑥事業継続計画（BCP）に沿った形で法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。また、定期的に会議を開催し、より実効性の高い防災対策を検討する。
 - ・BCPに沿った法人全体での訓練を年2回実施した。
 - ・毎月1回防災訓練を行い、隔月で幼児室ポッポとの合同訓練を行った。
 - ・災害時伝言ダイヤルを用いて、家庭からの安否報告を受ける訓練を実施し、緊急時における情報伝達手段の再確認と、防災意識の向上を図る機会とした。
 - ・防災備蓄品の見直しを年2回見直し、過不足なく確保した。
 - ・非常用薬、処方箋、緊急連絡等の準備を徹底して確認を行った。

8. 地域との交流

- ①地域の清掃活動、資源回収、バザーや施設まつりなどの行事の開催や参加等を通じて、地域住民の方々と日常的に関わりを持つ機会を作り、利用者が地域で活動しやすい関係性作りをする。
- ②地域からの古紙やアルミ缶などの提供に対して地域の方に喜んで頂けるような取り組みを検討・実施し、双方にメリットのある関係性の構築を図る。
- ③事業所の作業体験、ホームページ・フェイスブック・インスタグラム・地域版の広報誌を活用し、

事業所の活動を理解してもらう取り組みを行う。

- ④地域の自治会の活動へ参加を検討したり、備品の貸し出しを行うなどして、地域貢献を図る。
- ⑤地域の方やお子様が参加できる木工づくり体験などを実施する。また、定期的に木工品を地域の方に販売する機会を設ける。
 - ・地域貢献の一環として、定期的に事業所周辺の清掃活動を実施し、相互理解の促進を図った。
 - ・バザーや施設祭の実施時には、職員・利用者と近隣の方との交流を図れた。
 - ・常時、近隣からの古紙、アルミ缶などの資源物の持ち込みの受け入れをした。
 - ・地域の自治会の取り組みとして、新秋津駅付近武蔵野線沿いの花壇の花植えに参加した。

9. 実習生の受け入れ（利用者・職員）

- ①地域の支援学校等より実習を受け入れ、将来の就労の場の選択肢となるように支援する。学校からのアセスメントの状況を共有し、作業環境にも配慮する。
- ②市役所、社会福祉協議会等と連携し、福祉サービスの活用に結び付かない在宅者等にも働きかけ、社会生活を送るための動機付けの機会を提供する。
- ③教員や社会福祉士を目指す学生などの実習を受け入れ、福祉の人材育成にも貢献する。
- ④中学生、小学生の体験授業の受け入れをする。
 - ・特別支援学校生徒の実習を実施し、将来の進路選択に資する機会とした。
 - ・保育士専門学生の実習を実施し、人材育成に努めた。
 - ・秋津東小学校の授業の一環として、職場体験を実施し、障害理解の促進を図った。

対象	実習内容	期間	人数
支援学校生徒	施設の日中活動体験	10月	2名
専門学校	保育実習	11日×2名 12日×1名	3名
秋津東小（5学年）	職場体験	1/20	90名

10. 保護者会等との連携

- ①支援の充実を図るため、家族、後見人等との情報交換を密に行う。
- ②月1回の保護者会開催と、年1回の個別面談を実施する。
- ③講座などを組み入れ保護者の方への情報提供や気分転換の場を提供する。
- ④家族で参加できる行事を行い、交流の場とする。
- ⑤あきつの園便りを月1回配布し、園の活動状況を把握していただく。
 - ・月に1回の保護者会を実施し、保護者への情報提供及び保護者同士の情報共有の場面とした。
 - ・暑気払いや納会を保護者参加型の形で開催し、交流や利用者の様子を見ていただく良い機会となった。

11. 職員研修

- ①一社会人としての知識・情報を得るため、他業種の研修や見学、交流などを行う。
- ②研修の内容について、職員間で必要な情報を共有することで、職員全体の支援力向上を図る。
- ③虐待防止を徹底し、全職員を対象に研修を行う。
- ④研修予定

- 障害者虐待防止、権利擁護研修、社会福祉従事者人権研修Ⅰ・Ⅱ、サービス管理責任者・更新研修、法人合同職員会議の開催（年２回）、初任者・中堅・上級職員研修、災害教育研修等
- ・虐待防止に関する研修や安全運転に関する研修を複数回行い、サービス提供の基本的な安全・安心が確保されるように努めた。
- ・工賃支給額の向上を目的とした工賃アップセミナーに参加し、他施設の先進事例や生産性向上についてのノウハウを学ぶ機会となった。

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回／月	施設内各場面会議健康・衛生・地域・家庭生活・就労・防災等
評価会議	2回／年	利用者の生産性・工賃等の見直し等
ケース会議	3回／月	利用者一人一人の個別の会議・月に2名
厨房会議	1回／隔月	なごみの里・みどりの森・東京天竜との合同会議
研修報告会	随時	個別参加の研修報告
幼児室ポップ合同会議	1回／隔月	事業経過報告・避難訓練・行事他

※その他必要に応じて開催

- ・定例会議は計画通りに実施した。個別のケース会議は利用者の増加に伴い、実施の頻度を例年より多く実施した。

13. 事業継続計画（BCP）

（１）防災

計画に沿った形で法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。また、定期的に会議を開催し、より実効性の高い防災対策を検討する。

- ・法人全体での訓練を２回行った。年度途中から試験的な導入をした安否確認システム（オクレンジャー）の運用テストをするとともに、自衛消防計画に基づく、災害時の動きの確認をした。

（２）感染症

計画に基づき、連絡調整や対応手段を整理し、感染発症時にも円滑に事業の継続または再開をするための体制づくりをする。

- ・事業所内及び社会的な感染症の発生状況を注視し、必要な予防策を講じた。年間を通じて事業所内での感染症の拡大はなかった。

14. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

（１）苦情解決

①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。

②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。

（２）個人情報保護

個人情報保護規定に基づき、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切

安全に扱う。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

- ①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。
- ②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。
- ③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたる。

- ・利用者の要望や不満などを聞き取る機会を多く設け、苦情に至ることはなかった。
- ・個人情報や権利擁護・虐待に関しては、必要な体制を整備すると共に、常に状況の確認をし、適切なサービス提供が維持されるように努めた。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	牛越 拓生	042-392-4800
担当者	鈴木 脩太	同上
第三者委員	江幡 房枝	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	牛越 拓生	042-392-4800
担当者（男性）	加藤 譲太	同上
担当者（女性）	長平 美里	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	牛越 拓生	042-392-4800
担当者	塩野 亜沙美	同上